さろま

第59号
発行　佐呂間町役場
発行人　佐呂間町長　船木長一郎
編集人　庶務課・庶務係
印刷所　佐呂間印刷

広報「さろま」は町政のいろいろなことを知っていただくために、毎月一回発行し自治会長を通じて全世帯に無料で配付しておりますみなさまの建設的なご意見や質問は庶務課庶務係へおよせ下さい。

火災シーズンです
火気に気を付けましょう

定例第三回町議會
＝十月三十日開会＝

定例第三回佐呂間町議会が去る十月三十日佐呂間公民館大講堂で開会提出議件八件について慎重審議の結果原案通り可決し同日閉会しました。議件次のとおり

一、一般会計追加更正予算既定予算一五九、〇五四千円に四、二五六千円を追加総額一六三、一一〇千円になりました。

才出の主なもの次のとおり

1 火防井戸修繕工事費補助一七四千円追加
2 町道維持修繕費で一三〇千円追加
3 知来十四号橋補修工事費二〇〇千円追加
4 川西公民館建設費補助金九二千円同じく生活改善施設費補助五〇千円計一四二千円追加
5 町内小中学生トラコーマ患者対策費七二千円追加
6 沿岸漁業振興対策事業費補助（かき清浄施設）三〇〇八千円追加
7 起債繰上償還元金三二八千円追加
8 滞納税整理事業負担金一五二千円追加
9 若佐、浜佐呂間防犯灯（街灯）設置費補助金二〇四千円追加
10 恩給住宅建設委託料五〇〇千円追加
11 低位経済農漁家畜産振興対策貸付金五五〇千円減額

二、知来十四号橋補修工事を町費支弁事業として議決

三、沿岸漁業対策事業費補助一、〇〇〇千円を四、〇〇八千円に議決変更

四、町貸付牛として道より八頭以内購入することについて議決

五、特別会計簡易水道追加予算
給水施設工事三〇〇千円追加

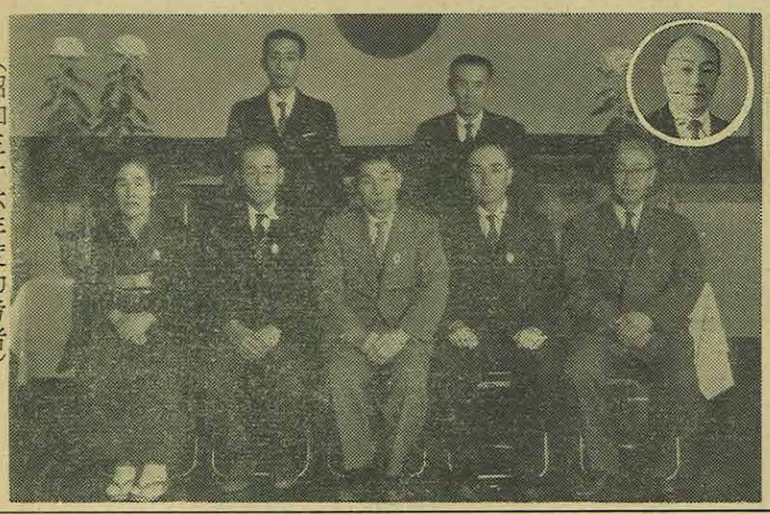
十一月三日文化の日に
功労者表彰式典挙行

菊の香高き十一月三日文化の日町褒賞条例に基く自治教育産業に功績のあつた方々の表彰式典を佐呂間公民館大講堂で挙行した。

これは自治教育産業の伸展と道義の昂揚を図るため住民の師表として賞讃し以つて平和で強靱な郷土佐呂間町の綜合的振興を期する目的で行つてまいりました本町では過去六回に亘り自功労者四〇名、教育功労者八名、産業功労者三八名、孝子節婦三三名を夫々表彰してまいりましたが、本年度の被表彰者は次のとおりです。

自治功労者
若佐　桐山　修
若佐　福島十宜知

産業功労者
永代町　小路谷美雄
浜佐呂間　森　誉
富丘　櫛部勝次郎
永代町　佐々木タカ


（昭和三十六年度功労者）

農地相談室

実測面積が登記面積より少いが。

（問）自作する農地のうち一筆の水田は、実測面積が登記簿上の面積と大巾に少いように思われます。このような場合登記面積を実測面積に訂正することはできないものでしようか。

（答）登記簿に於ける不動産の表示は、土地台帳の登録を基礎にしているから、登記簿に記載されている農地の面積が実際の面積より少い場合登記面積を実際の面積に合わせるには、まず土地台帳の面積を実測面積に合わせなければなりません。

土地台帳の面積を実測面積に訂正せずに、直接登記面積変更の申請をしても台帳と符合しないという理由で却下されます。（不動産登記法四九条一項一〇号）したがつて、まず台帖面積を実測面積に変更する申告を行ない土地台帖の面積を修正してもらつた上で、登記面積変更の登記の申請をすることになります。

面積の変更が、境界の変更と関係なく従来の面積が誤つていたのを訂正する場合には隣接地の所有者の承諾は不要ですので、ご質問の場合のように面積を減少させる場合は隣接地の所有者の承諾書は不要だと考えられます。又台帖面積変更の申告と登記面積変更の申請は別々にしなくても、併用申告によつて同時にすることもできます。（不動産登記法八〇条二）

冬の交通確保に
今から準備を

またきびしい冬将軍が、訪れるころとなりました。どろ雪・ふぶき・積雪など、わたしたちの交通の足をうばう冬です。長い間、寒さと雪にとざされる悪条件を克服して生産をあげ、明るく暮らすために、冬の交通を確保しなければなりません。道路は公共のものですから、国や道、市町村で整備を行うことは当然ですが、わたしたちの道路はわたしたちの手で大切に使い、愛護する心がけがなによりです。

冬は積雪のため道路が狭くなつて見通しもきかず、事故の原因にもなりやすく町でも各除雪車を整備し主要路線の除雪体制をとゝのえておりますがつぎの点に協力をねがいます。

一、道路をきれいに広く使えるよう、又除雪に支障のないように、道路につんである木材やまき等は今から取りのぞいて下さい。

二、消火栓・火防井戸の附近は絶対に物を置かないで下さい。

固定資産税率
三〇〇万円の減額
住民の負担軽減をはかる
一、七に引下げ

加して総額三、二七一千円に引下げる、三十六年度分については第四期の税額で更正する

六、税条例の一部を改正する条例の制定

固定資産税の税率は今まで「百分の二、一」であつたが三十六年分固定資産税より「百分の一、七」に引下げられ従来の百分の二、一を百分の一、七に引下げて、本年度から実施することになりました。

これにより町全体としては三〇〇万円の減税となり住民負担が軽減されます。

御承知の如く本道の市町村の大部分が制限税率の二、一の満度で課税していた原因の主なものとして未開発後進地域であるための自主財源の不足、さらに地域広大、積雪寒冷地帯であるための経費の増大、物価が高い等の諸条件によつて行政費がいちじるしく増加するためやむなく固定資産税の高率課税となつているのが本道市町村の共通した事情となつております。

今度これら開発、積雪寒冷地帯であるための経費など本道特殊条件に対する国の財源措置により固定資産税率の引下が実施されたものであります。

これに伴う税の減額については次のように措置しますので次のことを留意の上納入される様おねがいします

◎ 三十六年度の固定資産税は第四期で税額調整を行います。

すなわち第四期分の税額は一、七の税率で算出した税額よりすでに賦課された第一期より第三期までの税を差引いた額（更正通知書）が十二月に発付されますのでその額で納入して下さい。

◎ 第一期より第三期までの税額は従来通りですのでまだ納入されてない方はその税額で納入して下さい。

町有財産の管理に
御協力願います

町有財産を造成し又維持管理を行うにあたり、町民の財産として、日頃皆様よりは協力を戴いておりますが、今後更に町有財産の維持管理に万全を期するため次の事を守り各位に尚一層の御協力をお願いいたします。

1 町有地（山林、防風保安林、原野、畑等）内に許可なく立入らないこと。
2 町有地内の立木の枝条根株、小しば、盆栽用樹木、門松、野草類、樹実、樹皮、切芝、土砂、その他の産物の採取を行なわないで下さい。
3 町有地内を許可なく使用したり、又営造物を設置しないで下さい。
4 町有地に隣接地の立木の伐採又は開墾を行う場合事前に役場に連絡し境界を確認した後に実施する様にして下さい。
5 町有地内に家畜をつないだり、又放牧等をしないで下さい。

ねずみを退治しよう

秋は収穫のときです、これから寒さに向うにつれて収穫の穀物や野菜等を狙つて、ねずみが家屋や倉庫等に侵入してきます。

一組のねずみが一年間に千五百匹にも殖えるといわれ、一匹のねずみがチョロチョロしているとその家には最低二十匹はいるそうです。ねずみは体重の四分の一の量を一日に食べるので二百グラムのねずみが二十匹いれば一日に一キログラムの食物を食べられます。

この様な被害を与えるねずみを退治する効果的な方法として

1 出入口を塞いでしまう家屋や倉庫のねずみの出入口となる穴を塞いでしまう、又出来れば住宅の改善等を行いねずみが入れない様にする
2 屋内の整理整とん台所を乱雑にして食べ物を出し放しにしておくことはねずみの繁殖を助長させます、住いや倉庫等の食物の管理を完全にしてねずみの食べ物がなく住む事のできない様な環境をつくる。
3 それでも侵入したときはくずりやねずみ取りの道具で取ります。

冬の保健に
注意しましよう

北海道の冬の保健は、寒さに対して健康を守ることです。

体温の調節を自分で行える大人は、よく寒さに耐え得る事ができますが、小児や乳幼児はまだ自分で保温調節をすることが未熟なので、急激な気温の変化には耐え難いのです。特に今年初めて冬を向える乳児の保温には注意をしなければなりません。

寒さに対する抵抗については、夏や秋の日常生活における保温の方法により大変異つてきます。

即ち夏の中に皮膚の鍛錬に気をつけ、秋には充分外気に触れさせ、できるだけ薄着の生活に馴れさせておく事が寒さに対する抵抗力を強めます。

寒さが増すにつれて、日頃身体の弱い子供は特に感冒にかかり易いが、感冒に罹ると健康児でも他の疾病免疫力が低下し、色々な伝染性疾患に罹り易くなります。

猩紅熱、ヂフテリヤ、気管支炎、肺炎等は特に冬に多い疾病です。

次に保温については、入浴後の湯ざめ、或は温度の変化に対する適切な被服の調節、例えば暖い室から寒い外に出るときは一枚よけいに着せる等と云つた事に特に注意する。又これからの外気に触れることは皮膚の鍛錬に特に効果があります例えば外出する時寒いからと云つてマスクをさせる方がありますが、健康児ではかえつて気道の抵抗性を弱めますから、鼻や咽の病気の時以外は用いない方がよい、又くび巻きも同様です

冬は日光の当る時間が短かいから、風のない時は子供を努めて戸外で遊ばす様にして下さい。

又冬は、室内生活の時間が長くなり、暖房等により通風が悪くなりがちですから換気に充分注意しましよう

危険物取扱主任者試験
十二月七日に実施

危険物を取扱う者は、消防法第十三条の三の規定により、危険物取扱主任者の試験に合格し一定の資格を持つた者でなければ取扱えないことになつております。

未だ資格を持つていない方又は受験を希望される方は次の期日に試験が行なはれますのでお知らせいたします。

一、試験の期日
昭和三十六年十二月七日

二、受験資格
六ケ月以上危険物取扱いの実務経験を有する者で試験当日まで満十八才以上の者

三、受験願書の提出期日
受験願書は、昭和三十六年十月二十六日から同年十一月二十五日までの間なお願書を郵送する場合は十一月二十五日の消印のあるもの

四、その他詳細については役場の民生課にお問い合せ下さい。

昭和36年度第4次

自衛官募集

願書受付　昭和36年11月10日より昭和37年1月25日まで

赤ちゃんコンクール

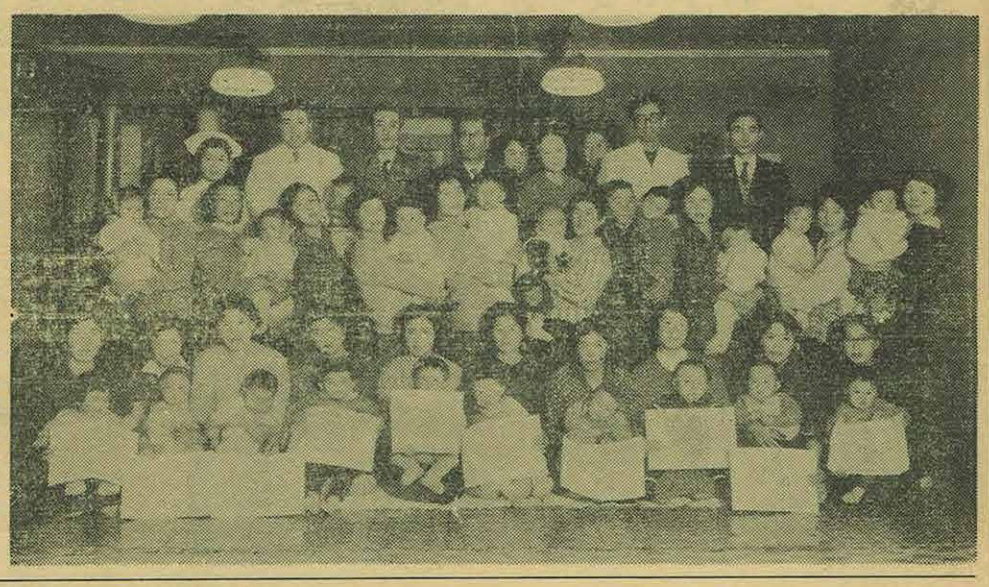
一位に｛伊藤康弘 / 中村咲子｝ちゃん

町では十一月二日佐呂間公民館で第一次審査を経た男子十名女子十名の優良児の中より次の順位により夫々表彰されました。

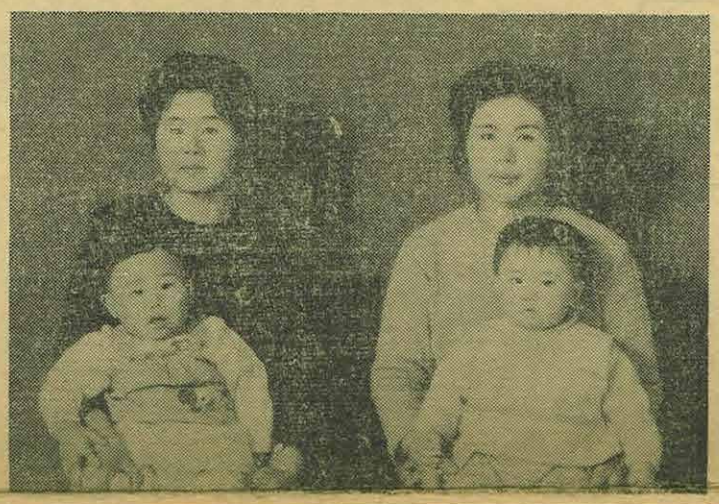
このコンクールは町内乳幼児及び姙婦の健康保持、体位向上を図るため一斉検診とあわせて行つているもので各種疾病の早期発見と適切な治療の方法を指導すると共に育児知識の普及につとめているものであります。

今年該当する乳幼児（生後四ヶ月～十六ヶ月まで）二三〇名のうち一一八名がこの一斉検診を受けたのですが半数の赤ちやんが検診を受けておりません。

毎年この一斉検診を行つているのですから可愛い赤ちやんの正しい育児と健康保持のため進んで検診を受けるようにいたしましよう



（優良児として表彰された赤ちやん）



（写真左＝一位入賞の赤ちやん）

最終審査に選ばれた優良児

順位	男子 氏名	住所	保護者一続柄	女子 氏名	住所	保護者一続柄
一位	伊藤康弘	浜佐呂間	英雄 長男	中村咲子	若佐	誠一 長女
二位	藤田英人	浜佐呂間	富美夫 長男	工藤弘子	永代町	孝 二女
三位	香川浩幸	栄	芳幸 長男	中村厚子	知来	直臣 長女
四位	津田稔夫	永代町	義一 長男	平戸あけみ	宮前町	保美 長女
五位	工藤典人	永代町	次太 長男	平戸みゆき	富丘	道夫 長女
優良児	上野照雄	永代町	照 長男	青木美智子	永代町	留蔵 二女
〃	野島敏博	若佐	武敏 長男	今井純子	大成	菊太郎 長女
〃	結城雅史	永代町	仲治 二男	谷川貴子	若佐	忠 長女
〃	鈴木隆博	若里	洋 長男	豊田裕美子	宮前町	信哉 長女
〃	佐藤一清	朝日	光男 長男	長瀬珠代	栄	俊男 長女

農芸相談 (四)

◎秋播麦の冬枯れ防止について◎

「問」秋播麦が毎年冬枯れし困つてしまいます。どうしたら冬枯れを防ぐ事が出来ますか。

「答」秋に蒔いた麦が翌春雪解けと同時に汚灰白色に腐つて枯れている畑がありますがこれが麦の冬枯れ病に罹つたものです。この病気は毎年の如く農家で話題になる重要な問題です。（雪腐病）九月半ば迄に播かれた麦は好天に恵まれスクスク育つていますが、これから永い冬を越なければなりません。

冬の間麦は雪の下で過ごす訳ですが、その間麦は自分の体の糖分を消化して生命をつないでいます。同化作用も出来ずその為ドンドン弱つてゆきます、そこえ雪腐病の病原菌が侵入しますと麦は抵抗も出来ず菌のなすまゝの姿になつてしまう訳です。

予防の方法として

㈠適期に播く事が大切で秋のうちに丈夫な体をつくつておく事です。

㈡その為には肥料を充分やらなければなりません、特に燐酸肥料は大切で10アール当り30キログラム位は必要です。燐酸は体内の蛋白質を多くし麦が雪の下でもこの蛋白を栄養として使えるため雪腐病菌に対しても負けない抵抗力を備えるからです。窒素、加里も燐酸に添つた量を施こすように して下さい。

㈢排水をよくする事、排水が悪いと根が吸吸も出来ず伸びがなく弱体となり抵抗力の小さいものになつてしまいます。

㈣種子消毒を行う事。

㈤然しながら冬の近づいた現在麦を冬枯れから守るには薬剤撒布以外に方法がないので今年こそ全ほ場の防除を行つて下さい。

薬剤は種々出廻つていますが一般に麦用水銀剤（麦用ルベロン等）が効果的です撒布する場合、10アール当り三キログラムの割合で畦の上から吹きつけて撒布し決して吹き流し撒布を行つてはならない。

以上の如くですが㈤の薬剤撒布は雪腐病菌からみて根雪前に二回の防除が望ましいが、然し根雪直前の唯一回の防除でも充分経済効果を上げられます。この時期は根雪に近い程効果が大きいので天気予報に注意して撒布して下さい、時期的には十一月上、中旬です。

又根雪直前の撒布を逃した場合でも麦の葉先が見える程度（約10センチ位）の降雪であれば薬剤を散布しても効果が上りますから諦めずに防除を実施して下さい。

「問」一般に秋播麦類の薬剤撒布をしたあと雨が降つたりして雪がとけた場合薬の効果がないと云はれますがどの程度のものでしようか。

「答」たしかに大切な問題ですが農業試験場の成績によりますと、これからは夏のような大雨はないので、かりに少しの雨が降つても八〇パーセント位の効果があります。ただ完全に予防する場合には二回撒布が適当でしよう。

（佐呂間地区農業改良普及所）

やけどの手当

そろ〳〵火傷をしている児が目立つて来ました。

乳児では湯タンポやストーヴにより、幼児はいたずらや不注意によつて火傷をよくするものです。火傷はその程度により四つに分けます。

第一度　皮膚が赤くなり、痛みます。

第二度　皮膚が赤く腫れ水泡が出来ます。

第三度　皮膚が深い所迄やけ、後になつてくずれます

第四度　その部分が黒こげになります。

二度以上の火傷が全身の二分の一以上になると三～四日で死亡します。二分の一以下三分の一以上では必ず死ぬとは限りませんが重態です。幼い子供では、六分の一か七分の一でも生命に危険を及ぼします。

手当、ワゼリンかホウ酸軟膏をガーゼに塗り火傷のか所を被います。オリーブ油を塗るよりもこの方がよいのです。しかし油しか手もとにない時は、やむをえません。又二%の重曹水を浸したガーゼで湿布してをいてもよろしい、冷湿布は痛みをやわらげます。からだの大きな部分にやけどをした時は、シーツか大きなタオルを水に浸して（できれば重曹水の方がよろしい）からだを包んでおき、乾かない様にときゞ水でぬらします。小さな水疱は針でついて水をだしたりしないでそつとしておきます。大きな水疱は、消毒針で水疱の一端をつき、上皮を破らぬ様に内容を圧出して軟膏を塗つておきます。衣服や靴下などの上から熱湯がかかつたときは、素早く衣服をぬがせ（シャツなどをぬがせられないときは、大きな鋏で切りとつてしまいます）靴下をとつてしまわないと熱湯がいつまでも皮膚に作用しますから、火傷がひどくなります。これだけの手当をしておいて、火傷のひどい時は早く医療を受ける様にしないといけません。火傷をしてから大騒ぎをするのは、ばかげた話ですから、火傷をしない様くれゞくも注意して下さい。

就任の挨拶

教育長　鈴木　諄

山口愛光先生の後をうけて教育長に選任されました。もとより不肖でその任を全うすることが出来ますか懸念致しております。

しかし就任致しました以上皆様方の御支援と御協力を得渾身の勇をふるつてその任を果す覚悟で御座います委員会の仕事は申すまでもなく学校教育と社会教育の二つに分れますが、これは車の両輪の如くその何れを欠いても住みよい平和な社会が生れないと思うのです学校教育に於ても小学校は既に教科課程が改訂されましたが、中学校は明年に於て改訂され、職業家庭が技術家庭と変りますとその施設面に於て画期的といつてもよい施設をしなければ教育効果を挙げることは出来ません。町内八中学校に要する経費は莫大な額に達すると思います。その他老朽校舎の改築、或は定時制高校の全日制への切り替え、更に道立への移換等々問題

軽自動車は鑑札の交付を受けましよう

ビートトップのつくりかた

ビートは根部の重さと同じくらいトップ（茎葉）が生産されます。飼料にするにはサイレージが良いと思われます。

十月上旬から十一月上旬まで収穫を行いますが、トップをサイレージに利用するときは収穫するとき土がつかない様に注意することが大切です。

土に汚れたトップを切込むと、不良バクテリアの増殖により腐敗します。

ビートトップはタッピングするときは水分が多いので乾燥したデントコーン又は乾牧草、稲わらなどを二、三割混合して埋草するのが良い方法です。

細切ふみつけは一般法でよく、未経験の人でも収獲作業と水分調整方法が適切であれば良質のサイレージを作ることができます。

サイレージにはしゆう酸が含まれていますので乳牛に与えるときは一日一頭当り三〇キロ位にして〇、二%の炭酸カルシュムを混合してあたえること。出来れば豆科乾草を一緒にあたえるとしゆう酸の害は一層緩和されます。

芸能発表大会

演劇部で佐呂間優勝

去る十一月五日佐呂間中学校で開催された第三回遠軽地区青年芸能発表大会には佐呂間町外五ヶ町村六〇〇名の青年男女が集り盛会のうちに終了しましたが演劇部では佐呂間青年団が優勝しました。当日の成績はつぎのとおり

歌唱の部
一位　上湧別町青年団　形部守
二位　上湧別町青年団　山田みどり
三位　丸瀬布町青年団　髙橋旭

舞踊の部
一位　佐呂間青年団　八田茂子
二位　遠軽町青年団　笠井正志
三位　松田幸二
　　上湧別町青年団　としえ

演劇の部
一位　佐呂間青年団
二位　瀬戸瀬青年団

コーラスの部
一位　遠軽学田青年団
二位　向遠軽青年団

農漁村へ花嫁さんを

終戦直後　海外から引揚げ者や軍隊の解体で農村人口が増加し、潜在失業者が農村にあふれた時期がありました。そして、一時的に男性の結婚適令者が増えるという社会現象が起つたけれども、農村の嫁不足はあまり社会問題とはなりませんでした。ところが、その後の経済状態の好転にともない、農村人口の都市への流出は大きく、二・三男の在村者は少なくなつております。それにもかかわらず農漁村で、なぜ嫁不足の現象が起きるのであろうか。

また、その現象は農漁村のどういう地域に起きているのかと考えてみよう。

一般に都市に近い経済的にゆとりのある農漁家の娘たちは、就職先を求めるとか花嫁修業で都市と接触する機会が多く、都市の空気を吸うことで、だんだん、農漁業をしようとしなくなりは山積されております。

社会教育に於ては青少年育成不良化防止の問題、婦人問題、部落づくり町づくりの問題等直接関接に町の生産や発展に関係する難しい問題がいかに多いことでしよう。

教育委員の方々と緊密に連繋し職員と協力して大任を果したいと考えます。

街へ出て、サラリーマンの家へ嫁ぐことをのぞみ、母親もまた、同じ考えを抱いている現状で、自分の息子の嫁はどこからさがすかといえば、やはり、都市からはなれた農漁村に求めるのです。同じような現象が次々に起きてゆくため、交通不便な生活程度の低い農漁村内では、嫁不足を生じているのです。この現象は管内でも例外ではありません。戦後、管内に入植し現在約一万八千七百ヘクタール開墾した入植者で、農業に従事している者は男、四千七百人、女、四千二百人で、女性が少なく男性の中にも、いろいろな事情で、単身入植した者がたくさんおります。それらの男性が配偶者を探すため、結婚適令にある男女間のアンバランスが現われています。このような嫁不足の問題は少しでも解消しようと、全道的に「農漁村へ花嫁さんを」という運動を始めました。

いままでは、開拓青年に花嫁をお世話する仕事をやつておりましたが、これからは、開拓にかぎらず、農漁村全般にわたり、結婚あつせんをいたします。そのために、全市町村に結婚相談所を設置して、積極的に、問題解決に努めたいものです（網走支庁広報資料から）